

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 さいたま南局 北局 2021年度番組審議会 議事録

【日 時】 2022年3月14日(月) 14時～15時30分

【場 所】 株式会社ジェイコム埼玉・東日本 本社

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

小島 香織 様	平沼 大二郎 様(審議会会長)
清水 志摩子 様	町田 伸吉 様
中島 祥雄 様	

ご欠席 (五十音順)

内木 滋郎 様	小林 裕一 様
---------	---------

<事業者:株式会社ジェイコム埼玉・東日本>

代表取締役社長	平岩 光現
取締役	中山 紀子
さいたま南局局長	上田 剛
さいたま南局地域プロデューサー	土屋 奈津子
さいたま局局長	国分 多喜夫
さいたま北局地域プロデューサー	加治屋 まい

(制作担当)

JCOM株式会社 ジェイコムプロダクション本部映像制作第一部	
埼玉ニュース報道グループ グループ長	大橋 洋一
埼玉ニュース報道グループ	北條 英行
埼玉ニュース報道グループ	梶間 亨

1. 開会 (事務局)

・出席者の紹介

・事業者紹介

2. 2021 年度事業概要説明(平岩)

- ・加入状況・売上利益の説明
- ・コロナ影響による営業獲得について
- ・今年度加入傾向、営業見込みについて
- ・若年層向け新商材(インターネットオプションサービス)について

3. 2021 年度コミュニティチャンネル編成内容について説明(大橋)

・制作体制の変更について

2021 年度 4 月より組織改編により制作担当は JCOM 株式会社ジェイコムプロダクション本部所属となった。地域の皆さまの向き合い、編成方針に変更はない。

・With コロナの中で新型コロナ対応の継続、L 字情報の掲出・ワクチン情報など視聴者に必要な情報を放送。

・地域情報として密着した放送を継続。

・高校野球・花火大会などのイベントも With コロナを見据え放送させていただいている。

・新番組「LIVE ニュース」について

更に地域に根差した番組として変化させる目的でスタジオを出ての放送を各エリアで開始、各エリアのシンボリックな場所から放送。さいたま南局・北局エリアは浦和駅前から放送している。コロナ感染防止に関しては配慮しながら行っている。

・従来の取材型のニュースを放送する「WEEKLY トピックス」・バラエティ番組「埼玉の逆襲」、アスリート応援番組「頂アスリート」、清水委員にご協力いただいている「志摩子の部屋」などの制作・放送を行っている。また、さいたま市から受託の広報番組「のびのびシティさいたま市」の放送を行っている。2022 年度も受託が決まっている。

・1 年間の制作番組を映像にてご紹介させていただく(映像視聴)

4. 番組審議

■LIVE ニュース 11 月 5 日初回放送「つながる浦和」の告知について

(平沼委員長)

これより番組の審議に入ります。順番にご意見を頂きたい。

(清水委員)

地元のことがよくわかる番組かと思うが放送体系はどうなっているのか。

(回答/大橋)

10時、17時の予定だが、コロナの状況により現在は10時の1回で放送させていただいている。外出が制限されている在宅の方などに観ていただきたい。

(中島委員)

一般の方も通過する場所で、撮影も大変かと思うが、うまくやっていると思う。MCのあらい太朗さんの雰囲気や肩の力が抜けていて、出演に慣れていないゲストも硬くならず話がしやすい。コロナの感染状況やワクチン接種情報に関してはきっちり伝えているのでコントラストがついている。地域情報についてはもっと遊んでもいいかもしれない。原稿台の部分は他局の様に告知や番組宣伝に活用ができるのではないかな。

(回答/北條)

原稿台については現在検討させていただいており、今は季節感がわかる温度計など掲示している。今後も改善させていただく。

(町田委員)

よくできている印象。バックの緑がきれいでほっとする。季節感もあって外の撮影はいい効果が出ています。あらい太朗さんは程よいメリハリと抑揚があり、見直した。審議番組の映像の中で、後ろの方が何を持っているかわからなかったのが気になった。

(回答・大橋)

コロナ禍によるソーシャルディスタンスで演出が難しい。映像にマイクが入ってしまったり、不手際があった部分もある。手持ちのポスターなどもわかりやすくしていきたい。

(町田委員)

全員が棒立ちしているところも工夫が必要かもしれない

(回答/北條)

開始前は後ろにギャラリーが沢山いてにぎやかな想定をしていたが、コロナで密集もできないので、今後はコロナも落ち着いていく中でもっと工夫していきたい。

(小島委員)

私も後ろの方が持っているものが気になったが、次の回では改善されているので工夫されたのがわかる。全体としては街中で楽しい雰囲気放送されているので楽しめる。あらい太朗さんの進行も明るくてわかりやすい。ロゴやテロップも回を重ねるごとにわかりやすくなった。

気になる部分としては車のナンバーなどが映ることに配慮は必要ないのか。また中継部分の紹介した商品は価格がわかると視聴者の参考となる。リポーターのリアクションはもっとあってもよかったと思う。

(回答/大橋・北條)

ご指摘ありがとうございます。初回を見ていただいたが、少しずつ改善させていただいている。車のナンバーに関しては社内でも協議している。また安全面の配慮は必要かと考えている。撮影場所の使用許諾は得ているが、今後はさらに強化していく。

テロップについては毎回ご指摘いただくが、今回お褒めいただいた部分もあり、ありがたい。スマートフォンのアプリで見ていただくこともあるので視認できるテロップを心掛けている。情報をお伝えする中でどうしても文字が多くなってしまっているので今後も改善していきたい。

■LIVE ニュース 11 月 19 日「お別れ市民会館告知」について

(平沼委員長)

続きまして「お別れ市民会館告知」について J:COM から番組の内容を説明ください。

(北條)

番組は先ほどと同じ「LIVE ニュース」となります。エリアを浦和から大宮へ移し、52 年間の歴史を閉じる大宮市民会館イベントについてお知らせしました。あらい太朗さんも思い入れのある会館となります。また市民の皆さまの思いも強く、生中継で伝えさせていただいた中で想定より長くなってしまった。出演された方の満足感や市民会館を記録映像として残すことにも意義があるかと考え審議の対象とさせていただいた。

(平沼委員長)

それでは順番にご意見をお願いします。

(小島委員)

音声がかたまの様に聞こえてしまったのはなぜか。

(回答/北條)

万全を期す様にはしているが生中継で起こる機材トラブルであり、なるべく早くリカバーす

る様にしてる。

(小島委員)

あらい太朗さんのマスクでの眼鏡曇りについても改善化可能かと思う。

また長くなってしまった分、思いは伝わって自分の思い出と重なって胸が熱くなった。

ローカル感もあって親しみが沸いた。

CM 明けたら夕方になっていて混乱したので先に案内して欲しい。

(回答/北條)

仰る通りで、生中継部分が長くなってしまい、構成が変更となり、見ている方にはわかりにくい部分もあったかと思う。以後気を付けたい。

(町田委員)

LIVE ということでご苦労されている部分もあるかと思う。市民会館の 52 年について過去の写真など使用し、もう少し深掘りして行って欲しかった。

「今気になる話題」という切り口は良い視点かと思う。今後はアフターコロナに関しても伝えて欲しい。

中継部分の写真の反射で見えなかった部分は改善できるのか。

(回答/北條)

撮影部分、リハーサルはしているが今後改善していきたい。コロナに関しては、現状まん延防止対策中にて現状外での放送ができず、泣く泣くスタジオからの放送となっている。内容については「コロナと生活」「コロナと健康」「コロナへの新しい取組」など視聴者の関心のある部分を関連の方々に Zoom で生出演いただく取組をしている。もちろん、まん延防止が明ければゲストとしてきていただくなど、状況に応じて取り組んでいきたい。

(中島委員)

中継でやったことで民放には出せない、いいローカル感が出ていた。「お別れ市民会館」については自分も実行委員なので何度か出席しているが、委員会の雰囲気がよく出ていた。

熱意などは確かに伝わったが、52 年の歴史ある会館の閉館事業について初めて見た方に伝わったか疑問が残った。みなさんのお話が長かったため、この事業に参画しているあらい太朗さんの立ち位置が不明確になってしまった。話を引き取って太朗さんが膨らませてあげてもよかったのかと思った。事前に打合せておいてもよかったと思う。が、全体的に

は他にない情報番組になっていてよかったと思う。

(回答/北條)

11月に新番組スタートということで一気に全力を投入してしまった。勢いよく生放送で皆さんにお話しただくのもいいかもしれないが、一方で思慮的に写真を取り入れたり、MCのあらい太朗さんの立ち位置をきちんと説明していく作り方もしなくてはいけないという葛藤もある。いい言葉を沢山いただき、今は勢いよくホットな番組を作っていきながらさらにいい番組作りをしていきたい。

(清水委員)

良い番組であったが、できたら再編集して3月末でももう一度放送してもらえたらありがたい。自身も市民会館には思入れが深く、自分の知人にも見ていただきたいものである。長いドキュメンタリーとして作ってもらいたい位である。

構成はよかったと思う。他のメディアがあまり取り上げない分、貴重だと思う。

(回答/大橋)

この後もさいごまで取り上げたい。民放では取り上げないが、地域の人にとっては大きな出来事なので今後もJ:COMが取り上げるべきものかと思う。

(平沼委員長)

番組に関して、他に意見・ご要望があればお願いします。

(中島委員)

細かい部分は色々あるかと思うが、なかなか独自色があって他にはまねができないと思う。これからもこの方向で進めて欲しい。

(平沼委員長)

いつも思うが、新しい番組が始まったのを知ることができない。どうしたら「埼玉の逆襲」をいつ見られるのか、新しい番組を知ることができるのかわかれば楽しい「J:COMライフ」を過ごすことができるのではないか。

(中島委員)

「ど・ろーかる」アプリがもっと浸透すればいいのではないか。

(清水委員)

志摩子の部屋に出たいと言われている。知事などはどうでしょうか。

(回答/大橋)

大丈夫かと思えます。

(町田委員)

他のニュースも見たところ、曜日ごとに色々な地域を放送している。統一感がないのはあえてで、局の独自性を尊重しているのか。

(回答/大橋)

今後統一感を持たせつつ、地域性は出していきたいと思う。

(平沼委員長)

これにて番組の審議を終了する。

5. 閉会(上田)

沢山の有益なお話をいただきありがとうございました。

いただいたお言葉は制作の担当者の励みとしながら、貴重なご意見は改善にも役立っていきたい。今後も皆様からのご指導をいただきたい。

以上